

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	きらめき守谷夢彩都フェスタ支援事業	担当課	経済課	
総合計画	政策	活力にあふれるまち	計画期間	平成17年度～
	施策	集客資源の創出と充実	種別	任意の事務
	基本事業	特色あるイベントの開催	市民協働	実行委員会
予算科目コード	01-070102-09 単独	根拠法令・条例等		

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
<p>つくばエクスプレスの開業を機に、市民の方々の交流促進による地域振興や、守谷市を広くアピールするために開始した駅前イベントで、平成22年度から守谷市商工まつりと統合して実施しているもので、商工会を主体とした実行委員会への支援を行っている。</p>	<p>毎年9月下旬の2日間、守谷駅西口駅前広場を会場として実行委員会により開催するイベントを負担金により支援する。令和3年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴う、新しい生活様式に対応したイベントの開催が見込まれ、規模の縮小も考えられることから、令和元年度の予算額と同額とした。</p> <p>会場では、市内中学校の吹奏楽演奏、よさこいソーラン踊りなどのステージ、物販PRブース、ピアステーションなどのイベントを実施する予定である。</p>
<p>目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）</p> <p>地域産業を支える商工業者や市民活動のPRの場として、実行委員会が開催する守谷市商工まつり～きらめき守谷夢彩都フェスタ～を支援することにより、地域の活性化を図る。</p>	
<p>（参考）基本事業の目指す姿</p> <p>地域資源やイベントを活用して、市内における賑わいを創出する。</p>	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
<p>今年度は昨年度のような台風接近による影響もなく、2日間とも天候にも恵まれ、来場者数は2日間で48,600人だった。</p> <p>来年度は、今年度の反省点や課題を整理し、更に来場者が増えるような実施内容を検討することが必要である。</p>	<p>令和元年度 11月 今年度の反省、課題整理</p>
<p>改善内容（課題解決に向けた解決策）</p> <p>実行委員会において、今年度の反省点や課題を整理し、実施方法や実施内容について協議を行う。</p>	
<p>次年度のコストの方向性（→その理由）</p> <p><input type="checkbox"/>増加 <input type="checkbox"/>維持 <input type="checkbox"/>削減</p>	

R02年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R03年度の振り返り）	
R02年度の評価（課題）	R03年度の実績（評価、課題への対応）
新型コロナウイルス感染症の影響により、開催を中止した。	新型コロナウイルス感染症の影響により、開催を中止した。

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	目標値（R03）
来場者数（人）	87,000.00	70,700.00	28,700.00	48,600.00	0.00	0.00	75,000.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）							
<input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	新型コロナウイルス感染症の影響により、開催を中止したため。						
今後の事業の方向性（→その理由）							
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	地域産業を支える商工業者や市民活動の発表PRの場として開催しているイベントであるため、新型コロナウイルス感染防止に努めながら継続して支援する。					

コストの推移						
項目		R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算	R05年度見込
事業費	計	2,699	0	0	5,171	3,200
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	2,699	0	0	5,171	3,200
正職員人工数（時間数）		301.00	0.00	8.00	0.00	0.00
正職員人件費		1,235	0	31	0	0
トータルコスト		3,934	0	31	5,171	3,200

令和3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	守谷ハーフマラソン開催補助事業	担当課	生涯学習課	
総合計画	政策	活力にあふれるまち	計画期間	昭和59年度～
	施策	集客資源の創出と充実	種別	任意的事務
	基本事業	特色あるイベントの開催	市民協働	補助事業
予算科目コード	01-100501-08 単独	根拠法令・条例等		

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
<p>マラソンを通じて市民相互の交流と、市の知名度向上を図るため、昭和59年から実施している大会に対する補助事業として開始した。</p>	<p>大会は守谷市体育協会が主催し、市からの補助金の他、参加費及び企業協賛等により実施している。毎年2月上旬に開催しており、ハーフマラソン・5km・3km・2kmの男女年代別の種目を設定し健脚を競い合う。</p> <p>ハーフマラソンは、日本陸上競技連盟公認コースで茨城陸上競技協会の公認大会となっている。</p> <p>大会運営の係員は約800名で、体育協会会員や市民ボランティア等の協力を得ている。</p> <p>なお、今年度は、「コロナ禍でも開催できる大会」を検討している。</p>
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
<p>市スポーツ協会主催による「守谷ハーフマラソン」開催を補助することにより、幅広い年齢層の人々に健康増進をもたらすとともに、全国からの参加者に守谷市をPRする。</p> <p>また、大会運営に多くのボランティアが参加しており、市民相互の交流を深める機会になっている。</p>	
（参考）基本事業の目指す姿	
<p>地域資源やイベントを活用して、市内における賑わいの創出に努める。</p>	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
<p>参加者は上限数で推移しているが、企業協賛金を含めた大会運営経費の確保が課題である。</p>	<p>7月 運営委員会において通常開催中止決定。代替大会等について検討</p> <p>8月 市、スポーツ協会へ通常大会の中止等の報告</p> <p>9月 関係団体（協賛等）通常大会中止連絡 MORIYAリレーマラソン開催準備（茨城県民限定） （申込期間7/28～9/20）</p> <p>10月～12月 MORIYAリレーマラソン開催予定（常総運動公園内） 守谷ハーフマラソンin常総運動公園の開催準備 （申込期間12/20～令和4年2/10予定） オンラインマラソン開催準備 （申込期間 令和4年2/26～3/11予定）</p>
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響を鑑み、7月の運営委員会及びスポーツ協会理事会で、令和4年2月の守谷ハーフマラソンを中止することを決定。</p> <p>しかしながら、ただ中止するのではなく、昨年同様に、全国の誰でも参加できる気軽な運動機会の提供及び市のブランディングなどを考慮し「オンラインマラソン」を令和4年2月に開催を向けて検討した。また、新たな試みで、包括連携締結企業アールビーズと共同開催で「守谷リレーマラソン」を10月に実施した。</p>	<p>令和4年</p> <p>1月 守谷ハーフマラソンin常総運動公園及びオンラインマラソン開催の判断</p> <p>2月 守谷ハーフマラソンin常総運動公園及びオンラインマラソン開催の開催</p> <p>3月 次年度に向けての事業内容検討</p>
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<p><input type="checkbox"/>増加</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>維持</p> <p><input type="checkbox"/>削減</p>	<p>通常開催を予定している。新型コロナウイルス感染症の影響により、通常開催できない場合でも、代替大会開催を企画する。</p>

R02年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R03年度の振り返り）	
R02年度の評価（課題）	R03年度の取組（評価、課題への対応）
<p>新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により通常開催を中止した。</p> <p>全国のマラソン大会が中止になる中、毎年参加するランナーの皆様のモチベーションを維持する方策を検討し、オンラインハーフマラソンを開催した。</p> <p>開催期間中の土・日曜日に市民ランナー限定の仮想ゴールを設置し、ゴールテープを切る（優勝）体験の場を提供した。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、通常開催を中止した。</p> <p>守谷ハーフマラソン運営委員会は、コロナ禍でも開催できる大会を企画し、10月に、茨城県民限定で「市スポーツ協会設立記念 守谷リレーマラソン」を開催した。</p> <p>また、2月には、ランナーのモチベーションを維持するため、「守谷オンラインマラソン（10km）」を開催した。</p>

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	目標値（R03）
参加申込者数のうち完走者数（人）	5,160.00	4,727.00	4,995.00	4,919.00	1,028.00	420.00	5,300.00
市内参加申込者数のうち完走者数（人）	1,821.00	1,669.00	1,723.00	1,475.00	238.00	84.00	2,000.00
成果の動向（→その理由）							
<input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	通常開催できなかったことにより、参加者が大幅に減少した。						
今後の事業の方向性（→その理由）							
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 維持	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	実際にコースを走りたいという要望が寄せられている。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じた上で、ランナーやボランティアスタッフ、地域の方々の安心・安全が確保できる大会とするため、全国のマラソン大会の動向を調査・研究し、開催方法について検討する。 日本陸連公認コース更新のため、5年に一度の検定（計測）を受ける。					

コストの推移						
項目	R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算	R05年度見込	
計	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	
事業費	国・県支出金	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	一般財源	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
正職員人工数（時間数）	2,187.00	562.00	119.00	0.00	0.00	
正職員人件費	8,973	2,275	460	0	0	
トータルコスト	11,973	5,275	3,460	3,000	3,000	